

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社 パイオラックス

上場取引所 東

コード番号 5988 URL <http://www.piolax.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島津 幸彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部経理グループリーダー (氏名) 郷原 慎一

TEL 045-731-1211

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	40,370	8.3	5,653	26.2	6,288	26.6	4,495	37.9
25年3月期第3四半期	37,268	8.2	4,479	24.8	4,966	24.6	3,259	24.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 6,247百万円 (86.8%) 25年3月期第3四半期 3,344百万円 (78.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	361.38	
25年3月期第3四半期	262.06	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	71,457	60,379	83.1
25年3月期	64,109	54,345	84.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 59,382百万円 25年3月期 53,822百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		17.50		27.50	45.00
26年3月期		22.50			
26年3月期(予想)				22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	8.3	6,200	19.5	6,900	19.4	4,600	22.4	369.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
以外の会計方針の変更：無  
会計上の見積りの変更：無  
修正再表示：無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                   |          |              |          |              |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期3Q | 13,084,700 株 | 25年3月期   | 13,084,700 株 |
| 期末自己株式数           | 26年3月期3Q | 646,087 株    | 25年3月期   | 646,039 株    |
| 期中平均株式数(四半期累計)    | 26年3月期3Q | 12,438,633 株 | 25年3月期3Q | 12,438,680 株 |

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(参考資料) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、金融緩和の継続により、景気回復の兆しが見えてまいりましたが、新興国の成長鈍化や特定地域の政情悪化等、景気の先行き不透明な状況が続いており、世界経済の本格的な回復にはまだ時間を要すものと思われま

す。当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、エコカー補助金終了等による影響がありましたが、国内生産台数は7,257千台と前年同期比1.2%の増加となりました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルに拡販活動を継続的に推進した結果、連結売上高は40,370百万円と、前期比3,101百万円(8.3%)の増収となりました。

一方利益面におきましては、増収効果に加え、より一層の合理化を推進いたしました結果、連結営業利益は5,653百万円(前期比26.2%増)、連結経常利益は6,288百万円(前期比26.6%増)、連結四半期純利益は4,495百万円(前期比37.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (自動車関連等)

グローバルに拡販活動を積極的に推進した結果、売上高は37,907百万円(前期比8.0%増)となりました。一方利益面においては、増収効果に加え収益改善活動を推進したことにより、営業利益は6,048百万円(前期比22.6%増)となりました。

#### (医療機器)

新製品の売上が順調に伸びた結果、売上高は2,463百万円(前期比13.2%増)となり、増収および経費節減効果から、営業利益も154百万円(前期比316.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の資産合計は、受取手形及び売掛金、有形固定資産の増加等により7,348百万円増加し、71,457百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加等により1,314百万円増加し、11,078百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加等により6,033百万円増加し、60,379百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成25年11月7日の「平成26年3月期 第2四半期決算短信」で公表した数値から変更しておりません。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,881	14,705
受取手形及び売掛金	10,626	13,492
有価証券	187	187
商品及び製品	3,264	3,367
仕掛品	1,245	1,513
原材料及び貯蔵品	1,341	1,515
その他	2,077	2,211
貸倒引当金	△38	△44
流動資産合計	33,584	36,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,398	4,609
機械装置及び運搬具(純額)	5,438	6,778
工具、器具及び備品(純額)	1,369	1,792
土地	4,722	4,827
リース資産(純額)	80	70
建設仮勘定	1,497	2,150
有形固定資産合計	17,507	20,228
無形固定資産		
のれん	0	9
その他	608	749
無形固定資産合計	609	758
投資その他の資産		
投資有価証券	11,281	12,260
その他	1,126	1,261
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	12,408	13,522
固定資産合計	30,524	34,510
資産合計	64,109	71,457

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,127	2,922
短期借入金	625	638
未払法人税等	882	1,151
引当金	805	448
その他	2,829	3,271
流動負債合計	7,271	8,432
固定負債		
引当金	113	181
資産除去債務	18	18
その他	2,360	2,446
固定負債合計	2,492	2,646
負債合計	9,763	11,078
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,696	2,696
利益剰余金	49,325	53,199
自己株式	△710	△710
株主資本合計	54,273	58,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	863	1,069
為替換算調整勘定	△1,314	165
その他の包括利益累計額合計	△451	1,235
少数株主持分	523	997
純資産合計	54,345	60,379
負債純資産合計	64,109	71,457

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	37,268	40,370
売上原価	27,386	28,817
売上総利益	9,882	11,552
販売費及び一般管理費	5,402	5,899
営業利益	4,479	5,653
営業外収益		
受取利息	18	25
受取配当金	25	30
持分法による投資利益	445	522
その他	96	145
営業外収益合計	585	723
営業外費用		
支払利息	18	21
デリバティブ評価損	33	35
固定資産廃棄損	10	10
為替差損	22	—
賃貸収入原価	6	7
その他	7	14
営業外費用合計	99	88
経常利益	4,966	6,288
特別利益		
受取補償金	—	334
特別利益合計	—	334
税金等調整前四半期純利益	4,966	6,622
法人税等	1,661	2,096
少数株主損益調整前四半期純利益	3,304	4,525
少数株主利益	45	30
四半期純利益	3,259	4,495

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,304	4,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	52
為替換算調整勘定	66	1,357
持分法適用会社に対する持分相当額	20	312
その他の包括利益合計	39	1,721
四半期包括利益	3,344	6,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,287	6,182
少数株主に係る四半期包括利益	56	65

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	35,093	2,175	37,268
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	35,093	2,175	37,268
セグメント利益	4,935	37	4,972

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,972
全社費用(注)	△520
セグメント間取引消去	37
その他の調整額	△9
連結損益計算書の営業利益	4,479

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	37,907	2,463	40,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	37,907	2,463	40,370
セグメント利益	6,048	154	6,202

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,202
全社費用(注)	△577
セグメント間取引消去	37
その他の調整額	△9
連結損益計算書の営業利益	5,653

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な該当事項はありません。

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	25,563	4,550	5,750	1,403	37,268	—	37,268
(2)セグメント間の内部売上高	2,722	26	878	6	3,633	△3,633	—
計	28,286	4,577	6,628	1,409	40,902	△3,633	37,268
営業利益	3,832	177	654	123	4,788	△308	4,479

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	24,208	6,276	8,091	1,794	40,370	—	40,370
(2)セグメント間の内部売上高	3,621	36	899	5	4,562	△4,562	—
計	27,830	6,312	8,991	1,799	44,933	△4,562	40,370
営業利益	4,532	551	621	189	5,895	△242	5,653